

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公開番号】特開 2002-176354 (P2002-176354A)
 【公開日】平成 14 年 6 月 21 日 (2002.6.21)
 【出願番号】特願 2000-374000 (P2000-374000)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 3 K 23/54

G 0 6 F 1/24

H 0 3 K 5/19

【F I】

H 0 3 K 23/54 Z

H 0 3 K 5/19 T

G 0 6 F 1/00 3 5 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】 前記第 1 の論理値は、1 であり、

前記縮退回路は、

前記第 1 部分の保持データに対応する入力信号を受ける O R 回路を有し、

前記一致検出回路は、

前記 O R 回路の出力と前記第 1 の保持回路の出力とが一致したときに前記リセット信号を出力するエクスクルシブ N O R 回路を有する、請求項 4 に記載の半導体装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 1】

請求項 5 に記載の半導体装置は、請求項 4 に記載の半導体装置の構成に加えて、第 1 の論理値は、1 であり、縮退回路は、第 1 部分の保持データに対応する入力信号を受ける O R 回路を有し、一致検出回路は、O R 回路の出力と第 1 の保持回路の出力とが一致したときにリセット信号を出力するエクスクルシブ N O R 回路を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 3】

すなわち、図 5 で示したリセット回路 1 6 b の構成は、フリップフロップの出力を 4 本ずつに分けてそれぞれ O R 回路 2 2、2 4 で受けていた。そして O R 回路 2 2、2 4 の出力が一致するか否かをエクスクルシブ N O R 回路 2 6 でチェックしていたが、フリップフロップの出力は必ずしも 4 対 4 に分割してそれぞれ O R 回路で受ける必要はない。